禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B60

「中央職業能力開発協会編」

令和５年度 技能検定
１級 左官 学科試験問題
(左官作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　サンドペーパーの粒度は、番数が大きくなるほど粗くなる。

2　上げ裏鏝は、塗り付け、伏せ込み等に使用される。

3　外壁のメタルラス下地にアスファルトフェルトを下張りしても、防水効果はない。

4　陸墨は、天井、床、梁等の高さを求めるための基準となる墨である。

5　逃げ墨は、切付け等を塗る場合の基点となる墨である。

6　リシンかき落し塗り仕上げは、上塗りが完全に乾燥した後、かき落すとよい。

7　人造石洗出し仕上げの上塗り材の調合(容積比)は、一般に、セメント1：種石3とするとよい。

8　薄塗り工法における塗り厚は、一般に、10mm以下である。

9　漆喰は、主に、消石灰・砂・のり・すさを主原料としている。

10　木造建築物の外壁に波形1号ラスを張る場合は、開口部周りに平ラスを重ね張りすると、上塗りのひび割れ防止に効果がある。

11　人造石現場テラゾ工法による床仕上げには、密着工法、中間工法及び絶縁工法がある。

12　現場で使用する左官の材料は、塗り面に対する使用総数量、1日の使用量及び保管数量を考慮して手配する。

13　こね場の設置には、排水処理を考えなくてもよい。

14　火打ち梁とは、木造建築物の桁と梁等の入隅部の補強材として、水平に取り付ける斜材をいう。

15　二丁掛タイルは、れんがの小口を2つ合わせた面積と同じであることからついた呼び名である。

16　左官用の顔料には、耐アルカリ性のものを使用する。

17　浅黄土は、有機系混和材である。

18　パーライトは、真珠岩又は黒よう岩を粉砕して焼成したものである。

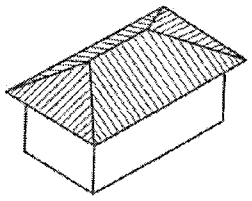
［A群（真偽法）］

19　日本産業規格(JIS)によれば、平ラスは、F450(1号)よりもF1050(4号)の方が、単位面積当たりの質量(g/m²)が大きい。

20　コンソールとは、洋風、ルネサンス建築風の持送り(ブラケット)をいう。

21　鉄筋コンクリートにおけるかぶり厚さとは、鉄筋の径の中心からコンクリートの表面までの最短距離をいう。

22　次図の屋根の形状は、寄棟である。



23　建築基準法関係法令によれば、階段に代わる傾斜路の勾配は、1/6を超えないこととしている。

24　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、左官仕上を表す材料構造表示記号である。



25　労働安全衛生法関係法令によれば、3m以上の高所から物体を投下するときは、監視人を置けば、そのまま投下してもよい。

［B群（多肢択一法）］

1　次のうち、細かな細工をするのに使用する鏝はどれか。
　イ　鋼本焼き引き鏝
　ロ　波取り鏝
　ハ　油焼きくり鏝
　ニ　中首面引き鏝

2　次のうち、中首鏝でないものはどれか。
　イ　角鏝
　ロ　れんが鏝
　ハ　上げ裏鏝
　ニ　こなし鏝

3　ラスボード下地のせっこうプラスター塗りに関する記述として、適切なものはどれか。
　イ　下塗り作業中は、せっこうが硬化するまで通風を避ける。
　ロ　材料は混練り後、3時間以内に使用する。
　ハ　水打ちは、下塗り、中塗り後に行う。
　ニ　中塗りは、下塗り後、3～4日後に行う。

4　墨打ちに関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　墨出しの寸法単位は、ミリメートルとする。
　ロ　心墨は、柱及び梁等の中心を示す基準である。
　ハ　柱左側のちり墨は、かるこ針に針糸(つぼ糸)を右巻きに巻きつける。
　ニ　十分に墨が含まれている針糸(つぼ糸)は、一度、捨て墨(むだ打ち)を行う。

5　SL(セルフレベリング)工法に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　せっこう系SL(セルフレベリング)材には、α型せっこうを用いる。
　ロ　SL(セルフレベリング)材の供給方法は、粉体(袋物)を現場で練り混ぜるものと、スラリータイプで現場へ供給するものがある。
　ハ　SL(セルフレベリング)工法では、材料を流し込んだ後、施工面を金鏝で十分に押さえなければならない。
　ニ　SL(セルフレベリング)工法では、一般に、施工する前日に吸水調整材の塗布を1～2回行う。

6　木造住宅の柱ちり(柱幅寸法が12cm以下の場合)の見出し寸法として、適切なものはどれか。
　イ　柱幅の1/3
　ロ　柱幅の1/4
　ハ　柱幅の1/5
　ニ　柱幅の1/6

［B群（多肢択一法）］

7　せっこうプラスターに関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　せっこうプラスターの長所として、収縮、ひび割れ等が生じにくい。
　ロ　漆喰に比べ硬化が速い。
　ハ　湿った場所では、硬化不良となり耐久性のない仕上がりになる。
　ニ　未乾燥のセメントモルタル下地に、せっこうプラスターを塗る。

8　軽量骨材仕上げ工法に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　パーライトやバーミキュライト等を骨材として使用する。
　ロ　適用できる下地には、コンクリートやプレキャストコンクリート部材等がある。
　ハ　内壁の上部や天井の施工に使用できる。
　ニ　断熱性や防火性に劣る。

9　セメントモルタル塗りにくし目を入れる目的として、適切でないものはどれか。
　イ　塗付け作業を容易にするため
　ロ　塗りずれを防止するため
　ハ　接着面積を減少させるため
　ニ　上に塗るセメントモルタルをはがれにくくするため

10　現場調合セメントモルタル塗り工法の練り混ぜに関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　セメントモルタルの可使時間は、冬期で2時間、夏期で1時間を目安とする。
　ロ　粉末状の混和材料(MC等)は、から練りのときに混入する。
　ハ　液状の混和剤は、あらかじめ練り混ぜ水に水で希釈して使用する。
　ニ　ハンドミキサーでセメントモルタルを撹拌する場合は、粉体を一度に加え、練り混ぜる。

11　色物漆喰仕上げにおいて、色むらの防止となるものはどれか。
　イ　顔料と材料の練り混ぜが、十分に行われなかった場合
　ロ　顔料を少量の材料で練り混ぜ後、徐々に材料を増やして練り混ぜた場合
　ハ　材料と顔料の調合が、正しく行われなかった場合
　ニ　鏝押さえの作業が、均一でなかった場合

12　こまい下地の土壁の一般的な施工順序として、適切なものはどれか。
　イ　荒壁→ 貫伏せ→ 裏返し→ ちり回り塗り→ むら直し・中塗り→ 上塗り
　ロ　荒壁→ 裏返し→ 貫伏せ→ ちり回り塗り→ むら直し・中塗り→ 上塗り
　ハ　荒壁→ 裏返し→ ちり回り塗り→ 貫伏せ→ むら直し・中塗り→ 上塗り
　ニ　荒壁→ 貫伏せ→ ちり回り塗り→ 裏返し→ むら直し・中塗り→ 上塗り

［B群（多肢択一法）］

13　次のうち、モルタルポンプの圧送形式でないものはどれか。

イ　ピストン式
ロ　スクイズ式
ハ　スネーク式
ニ　グラウト式

14　木造軸組工法に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　筋かいは、地震や風などの水平力に抵抗させるために入れる部材である。
ロ　間柱は、柱と柱の間に補足して立てる柱相当の垂直材である。
ハ　胴差しは、屋根下地を支えるために、棟から母屋、軒桁（げた）にかけ渡す部材である。
ニ　棟木は、小屋組の頂部をつなぐ部材である。

15　木造建築物の部材とその使用場所の組合せとして、適切でないものはどれか。

（部材）　　（使用場所）

イ　回り縁　・・・・　天井
ロ　たる木　・・・・　屋根
ハ　ささら桁（げた）　・・・　階段
ニ　胴縁　・・・・・　床

16　ポルトランドセメントに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　ポルトランドセメントの富調合のセメントモルタルは、貧調合のセメントモルタルよりも収縮による故障は少ない。
ロ　早強ポルトランドセメントは、夏期よりも冬期の施工に適している。
ハ　普通ポルトランドセメントは、水硬性である。
ニ　白色ポルトランドセメントは、酸化第二鉄(Fe_2O_3)の含有量が少なくなるように製造されたものである。

17　下地調整塗材に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　下地調整塗材 C-1 は、厚さ 0.5～1mm 程度に施工される。
ロ　下地調整塗材 C-2 は、厚さ 4～10mm 程度に施工される。
ハ　下地調整塗材 CM-1 は、塗料の仕上げ下地に使用される。
ニ　下地調整塗材 CM-2 は、陶磁器質タイル張りの下地に使用される。

18　漆喰用の木ずり下地に使用する板の寸法(厚さ、幅)として、適切なものはどれか。

（厚さ）　　（幅）

イ　約12mm・・・約40mm
ロ　約 7mm・・・約40mm
ハ　約12mm・・・約91mm
ニ　約 7mm・・・約91mm

［B群（多肢択一法）］

19　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

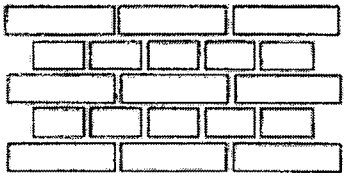
日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)によれば、せっこうボード下地には、厚さ(　　)mm以上の日本産業規格(JIS)に規定するせっこうラスボード又はせっこうボードを使用することとしている。

イ　5.5
ロ　7.5
ハ　9.5
ニ　11.5

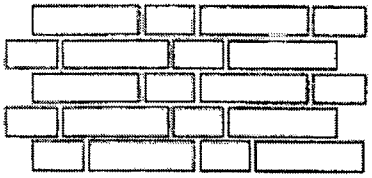
20　次のうち、寒色系の色はどれか。

イ　黄
ロ　赤
ハ　青
ニ　橙

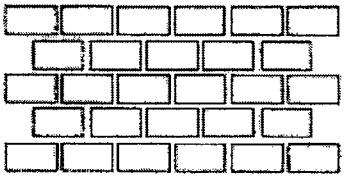
21　次図に示すれんがの積み方のうち、フランス積みを示すものはどれか。



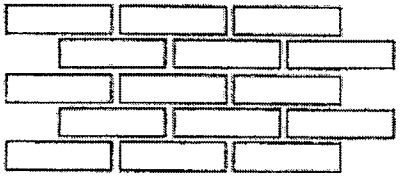
イ



ロ



ハ



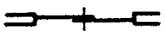
ニ

22　建築基準法関係法令によれば、耐水材料でないものはどれか。

イ　れんが
ロ　人造石
ハ　ガラス
ニ　構造用合板

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の平面表示記号が表すものはどれか。

イ　引違い戸
ロ　引違い窓
ハ　出入口一般
ニ　シャッター



［B群（多肢択一法）］

24　建築基準法関係法令によれば、主要構造部でないものはどれか。

イ　壁
ロ　柱
ハ　梁
ニ　ひさし

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、脚立については、脚と水平面との角度を(　　)度以下とし、かつ、折りたたみ式のものにあっては、脚と水平面との角度を確実に保つための金具等を備えることとしている。

イ　70
ロ　75
ハ　80
ニ　85